

# 双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 2/25 第28号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

## 第4回 トークイン双ヶ丘

2月22日(金)に第4回 トークイン双ヶ丘を行いました。久しぶりの開催です。今回のテーマは、1年生は「1年生を終えて」、2年生は「2年生を終えて」、3年生は「進路・卒業について思うこと」です。全校で6名の生徒が思いを語ってくれました。

1年生 女子

「2年生になればきっと今よりも忙しくなって、色々なことに気を配らなければいけなくなるだろう。そんな時、私は1年2組の仲間と過ごした時間を思い出す。助け合える友。色々なことを教えてくれる先生達。すべてがこれからの日々につながっていると、私は思う。」

1年生 女子

「1年2組は、本当によいクラスだと思います。明るくて元気がありあまっている人もいれば、物静かで、クラスのことをよく見ている人、しっかり者でクラスをまとめる人、たくさんの方がいます。……42人で1年2組です。2年生になったらこの42名が集まることのないと思うととてもさびしい気持ちになります。」

2年生 男子

「僕たちは、嵯峨野セントラルファームという農業のチャレンジ体験にいきました。楽しかったことばかりでした。短期間ですが農業のことを少し知ることができ、農業のよさをもっと気づくことができたのでとてもよい思い出になりました。」

2年生 女子

「クラスが変わってはじめての頃は1年の方がよかったとか不安になる時とかが多かった。でも今は、不安なことが全くなって気にしていたことが不思議なくらいこのクラスでよかったと思っている。……ラスト1年は全力でがんばり全力で楽しんで中学校生活が楽しかったと言えたらいいと思う。」

3年生 女子

「私は、ここに書けないくらいの多くの人に支えてもらって中学校生活を送ることができたと思います。だから高校生になっても大学生になっても、いつまでも周りの人に対する感謝の気持ちを忘れず、誰かの心の支えになるような人になりたいと思います。」

3年生 女子

「そんな私を支えてくれている家族がいる。応援してくれている友だちもいる。その日から私の気持ちは変わった。……今までの自分に後悔するのではなく前を向くしかない。応援の一言でギアを上げることができた。……本当に感謝しかない。」